

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	観光名所（職員）	・行楽シーズンに入ると、NHK大河ドラマの効果が現れる。
	やや良くなる	一般小売店〔菓子〕 （総務担当） スーパー（店長） コンビニ（店長） 衣料品専門店（経営者） 旅行代理店（支店長） 通信会社（支店長） 通信会社（管理担当）	・夏季休暇、お盆の時期と、節約疲れのタイミングが重なるため、消費は活発になる。 ・景気の最悪期も一回りして、徐々に景気回復基調にあると感じる。さらに、今年は猛暑のために夏物の動きが上昇してきた。 ・客の厳しい経済状況が少し緩み、ゆとりが出てきた。7月は買上点数や客数が増加に転じた。今後もこの傾向が続くと考える。 ・7月中の販売動向は底堅く推移している。8月以降についても、そろそろ底値が固まってきたため先行きを期待している。 ・地元開催の瀬戸内国際芸術祭の効果で、インパウンド観光の活発化が期待できる。 ・感覚的には景気は上向き傾向にあると感じられる。しかし、販売数量に大きな変化が表れていない。 ・新商品の投入を予定している。
	変わらない	商店街（代表者） 商店街（代表者） 百貨店（営業担当） 百貨店（営業担当） 百貨店（販売促進担当） 百貨店（売場担当） スーパー（店長） スーパー（店長） スーパー（企画担当） スーパー（人事） コンビニ（総務） 衣料品専門店（経営者） 衣料品専門店（総務担当） 衣料品専門店（副店長） 家電量販店（店長） 一般レストラン（経営者） 一般レストラン（経営者） 観光型旅館（経営者）	・景気は底を打った状況であるが、財布のひもがなかなか緩まない。先行きに対する不安から、消費者マインドの上昇になかなか繋がらない。 ・国が経済政策を打ち出さないと景気は好転しない。 ・ブランドによっては、前年との乖離幅が縮小している。しかし、相変わらず高額商品の美術・宝飾品の不振が続いている。クリアランスセールも初日はにぎわうが継続しなかった。また、食品類の販売は健闘したが、衣料品および雑貨商品では当用買いが目立った。 ・客の節約志向は根強く、販売点数はまだ少なくなる。 ・来店数が少しずつ増加しているが、価格への慎重な反応が続いている。 ・所得が向上する要因はなく、政府の景気対策も尻すぼみである。エコポイント対象家電やエコカー購入補助金制度の対象車以外の購買には慎重な傾向が続く。 ・食品販売関連では、主だった景気回復策がないため、景気は横ばいで推移する。 ・客数、客単価とも回復傾向である。ただ、節約志向は変わっていない。 ・7月は消費が喚起されているが、景気が上向いているという実感は感じられない。 ・変化に結びつく要素が見当たらず、しばらく、このままの状況が続く。 ・足元で消費動向は良いが、根本的に好転している状況ではない。あくまでも、天候や気温に恵まれた一過性のものであり、時期が来れば元に戻ると考える。 ・良くなる具体的要素がない。 ・客単価の動きをみても、まだ、景気回復の兆しが見えない。また、初秋に入っても暑さが続くこと予報されているため、秋物衣料の販売への悪影響が懸念される。 ・2～3か月先は、秋冬物が大量に入荷し、販売強化月になる。今の状況とさほど変わらず、引き続き、来店客は多いと見込んでいる。 ・最近の販売実績を勘案して変わらないと判断した。 ・夏以降で同業他社の出店が複数店決まっており、その中にはディスカウント業態もある。いったん落ち着いた様子のあった売価競争が再燃し、さらにエスカレートすることが懸念される。消費者も同質商品なら価格の安いほうに流れる。この傾向は更に強くなる。 ・政治の不安が、景気の後退を心配してか、ますます人の出が悪く、予約も少ない。明るい話題も少ないようだ。 ・現在の予約状況を見ると、3か月先の業況は横ばいか少し悪くなる。

	都市型ホテル（経営者）	・ここ7か月間、大河ドラマの影響で、県外からの観光客は順調に伸びている。しかし、地元の消費動向は相変わらず低迷している。大河ドラマ放映終了後は分からないが、2～3か月先は同様の状況が予想される。
	タクシー運転手	・9～10月は、例年と同じような季節動向を予想する。
	タクシー運転手	・会社関係者に聞くと、もう悪い時期は脱しているという意見が多い。その恩恵がタクシー業界、飲食業界にも回ってくると思う。また、秋になれば、四国遍路が始まるため、少しは仕事も増えるであろう。街の景気も現在より良くなると思う。
	通信会社（企画）	・良くなる大きな要因がない。
	美容室（経営者）	・客との会話によると、ボーナスの減少や手当の減少などによる節約志向がまだ続いているようである。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・客から良い話が聞こえてこない。
	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・8月の夏祭りの後に、毎年、急激な消費控えになるので、夏の売上が伸びないまま、秋を迎えそうである。
	家電量販店（店員）	・この時期にエアコン等の販売数が伸びると、その反動で、他商品の販売数が減少する。
	家電量販店（営業担当）	・7月の需要を伸びは、季節的な要素が強い。今後も来客数を伸ばすのは難しい。
	乗用車販売店（従業員）	・影響が少なくなったとはいえ、エコカー購入補助金は販売効果がある。補助金制度終了後、自動車販売はどん底が予想される。10月以降は明らかに低迷する。
	住関連専門店（経営者）	・個人消費がなかなか元に戻らないため、販売量が伸びていない。
	競艇場（職員）	・7月のSGレースが起爆剤となり得なかったことから、8月のお盆レースを含め多くを期待しづらい。
	設計事務所（所長）	・土地の価格が下落して、不動産を買う人が増えてきている。資金が建築投資に回れば景気も良くなる。
	設計事務所（職員）	・例年より大幅に落ち込むことが予想される。下半期の公共事業受注面に明るさはなく、仕事量減少に伴う時間外手当の減少は家計の消費動向に大きく影響する。特にローン返済者の財布の紐は一段と固くなること必至である。
悪くなる	衣料品専門店（経営者）	・現状のセール動向を見る限り、今後は悪くなる。
	乗用車販売店（従業員）	・9月末までのエコカー購入補助金制度が終了した後は、売上高は悪化する。
	乗用車販売店（従業員）	・エコカー購入補助金制度が終了する9月末までに納車出来ないケースが次第に多くなっている。今後、受注の減少が心配である。
	乗用車販売店（営業担当）	・エコカー購入補助金制度が9月末で終了となり、10月以降、大きく市場環境は変わると予想する。どこまで落ち込むかは予想が付かない。
	乗用車販売店（役員）	・エコカー購入補助金制度が終了するため、販売意欲が減退する。
	ゴルフ場（従業員）	・予約状況が非常に悪い。昨年と比べても予約率が低下した。来客数の様子、来場者数が徐々に悪化してきている。
企業動向関連	良くなる	-
	やや良くなる	-
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・今後の需要動向は全体的に少しずつ良くなる。
	輸送業（経営者）	・先行きに大きな変動が感じられない。
	通信業（営業担当）	・子ども手当の効果に加え、夏から秋に向かい行動的になる季節などの影響で、ここ数年続いている個人消費の減少傾向が、増加の方向に変わりかけた潮目を感じている。
変わらない	繊維工業（経営者）	・店頭では消費者の購買力に明るさが見えない。
	木材木製品製造業（経営者）	・当分変わる要素がない。
	鉄鋼業（総務・人事統括）	・売上高は、リーマンショック前の水準まで回復しないまま、横ばいで安定化してきた。収益は、輸入原料価格が円高進行で恩恵を受けた。中期的には原料価格の上昇が懸念されるが、目先に大きな変動要因は見当たらない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・急激な円高による採算性の悪化が依然として続く。
	電気機械器具製造業（経営者）	・引き続き、太陽光関連、電子機器、照明・特殊用途などのLED関係は一定して伸びている。今後も、現状の受注水準が継続する見込みである。
	建設業（経営者）	・当分、変わる要素がない。
	輸送業（統括）	・客先での話題から判断して、現状の状態が続くと思う。

		<p>通信業（部長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏場の連続休暇のため、商談が本格的に展開しづらい。また、数少ない商談案件についても客先からの価格低減要求が強く、利幅は小さい。
		<p>不動産業（経営者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不動産業界は、ずっと冷え込んでいる。特に、例年夏場は厳しい状況であり、今まさにその状況が続いている。消費者は模様眺め、あるいは立ち止まっているという状況である。銀行の審査がかなりシビアに対応しているため、今後も厳しい状況が予想される。
		<p>広告代理店（経営者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費低迷により、多くの得意先は広告費削減を続けている。新規案件は価格競争激化により採算が合わないケースが多くなっている。
		<p>公認会計士</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関与先の社長方との話では、業況はまだ厳しいという意見が大半である。土地の購入や投資についても、しばらく控えるという意見がほとんどである。
	やや悪くなる	<p>食料品製造業（従業員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場が伸びる要素がまだみえない。業務用を中心に外食向けの商品が苦戦しそうである。
		<p>広告代理店（経営者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2～3か月程度で変化があるかどうか分からない。しかし、電子書籍などの影響が、商業印刷に対して何らかの形で出始めるのではないかと思う。
	悪くなる	<p>輸送業（支店長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産数量を対前年比で減少させる取引先がある。また、同業他社の倒産もある。今後、人件費の増加の影響もあり、今後の景況感に懸念がある。
雇用 関連	良くなる	-
	やや良くなる	<p>人材派遣会社（営業部長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新卒の就職は未だ厳しい。しかし、中途採用再開の動きが出てきている。
		<p>求人情報誌製作会社（編集者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療福祉系企業からの求人ニーズは更に増加の見込みである。昨年より回復基調にあるため、今年10月から本格的に始まる新卒採用も少しは良くなるであろう。
		<p>求人情報誌製作会社（従業員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年同期と比べ、求人数が順調に増えている。
		<p>学校 [大学]（就職担当）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求人件数は少しずつ増えている。今後、秋採用の求人も増えてくるであろう。
	変わらない	<p>職業安定所（職員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相変わらず企業のリストラが発生している。倒産件数も増えている。経済対策も一段落といった状態であるため、景気の上昇に繋がる要素が少ない。
		<p>職業安定所（職員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月間有効求人倍率は先月と同じで、横ばいとなった。
	やや悪くなる	<p>新聞社 [求人広告]（担当者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県は製造業が脆弱なため、外貨が獲得出来ない。ここ数年の景気低迷で消費マインドも購買力も底に近づきつつある。どこの商店主からも「物が売れない」という言葉しか聞かない。大型小売店ばかりが集客しており、地元で金が還流しないため、地元経済は浮上の糸口がない。
		<p>職業安定所（職員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求職者が他地域へ流出しているため、今後の企業の人材確保に影響が出る。その結果、企業活動の低下につながる。
		<p>民間職業紹介機関（所長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新卒採用の人数を減らす企業が多く見られた。また、中途採用も手控えるという企業も多い。特に製造業に多く見られる。
	悪くなる	-